

学校法人敬心学園・学術研究誌『敬心・研究ジャーナル』執筆要領

1. 原稿提出に際し

「投稿原稿チェックリスト」を併せて提出すること。提出がない場合、受け付けないものとする。

2. 投稿原稿の分量

投稿原稿は、図表・注・引用文献を含めて 20,000 字以内とする。(A4 12.5 枚程度)

図表は 1 点につき原則 600 字換算とし、図表込みで 20,000 字以内を厳守すること。

3. 投稿原稿の言語

原稿は、原則として日本語で書かれたものに限る。ただし、英語については協議の上、掲載を認めることがある。

4. 投稿原稿の様式

投稿する原稿の執筆にあたっては、

(1) 原則としてパソコンで作成し、縦置き A4 判用紙に横書きで、1,600 字(20 字×40 行×2 段)×12.5 枚以内とする。

(2) 原稿の種類は、総説、原著論文、研究ノート、症例・事例研究、シンポジウム・学会研究会報告、評論、実践報告から選択する。

総説は原則編集委員会からの依頼、もしくは協議の上の掲載とする。

(3) 投稿に際しては、3 枚の表紙をつけ、本文にはタイトル(英文タイトル併記)、所属、氏名、を記載すること。

(4) 表紙の 1 枚目には、①タイトル、②原稿の種類、③所属、氏名(連名の場合は全員、ローマ字併記)、④連絡先を記入する。なお、掲載時には読者からの問い合わせを可能にするために、原則として連絡先(住所または電子メールアドレス)を執筆一覧に入れるが、希望しない場合はその旨を明記すること。

(5) 表紙の 2 枚目には、和文抄録(400 字以内)とキーワード(5 語以内)を記載する。

(6) 総説、原著論文の表紙の 3 枚目には、英文概要ならびに英文キーワード(5 語以内)を記載する。なお、その他についても、英文概要ならびに英文キーワード(5 語以内)を記載することができる。英文概要は 200 語前後。校閲・ネイティブチェックは執筆者の責任で行うものとする。

*投稿時に申し出ることで、ネイティブチェックを自己負担で受けることができる。

(7) 修正後、掲載決定した最終原稿は、Word 及び PDF で保存した電子媒体にて投稿する。

図表を本文とは別に提出する場合は、図表の挿入箇所を本文に明記する。なお、特別の作図などが必要な場合には、自己負担を求めることがある。

5. 文章の形式

文章の形式は、口語体、常用漢字を用いた新仮名づかいを原則とする。注や引用の記形式は、執筆者が準拠とした学会の執筆要領によること。

ただし「引用文献」は J-stage 掲載の為、簡潔にまとめて表記してください。

例 日本語文献の場合

○○著者名○ (000 発行年 000) 「○○タイトル○○」 『○○文献名○○』第○○号、

00-00 頁、○○出版社 名○○。

英語文献の場合

Taro Keishin (2018) “aaa bbb (タイトル) cccc” *Keishin Journal of Life and Health* (書名は必ずイタリック) Vol. 0 0, No. 0, America(国名)

* 聖書の翻訳本文は勝手に改変されたり、訂正されたりしてはなりません。また誤記や誤字も注意しなければなりません。聖書の翻訳本文の引用、転載の際には必ず出典の明記が義務づけられます。

例) 日本聖書協会『聖書 新共同訳』 詩編○編○節

日本聖書協会『新共同訳 新約聖書』 マタイによる福音書○章○節 など

参考) S I S T 02「科学技術情報流通技術基準 参照文献の書き方」

6. 倫理上の配慮について

投稿原稿に利用したデータや事例等について、研究倫理上必要な手続きを経ていることを本文または注に明記すること (※)。また、記述においてプライバシー侵害がなされないように細心の注意をなすこと。

(※) 人を対象とした研究の場合、所属する組織や団体などで倫理審査を受けていることが前提となるが、その倫理審査状況を記載する。

7. 著作権

原稿に、執筆者以外が著作権を保持する著作物の相当な部分（評価尺度全体など）の引用や翻訳が含まれる場合は、その著者および著作権者から許諾を得たことを示す書類（電子メールも可）のコピーを添えて投稿するものとする。

8. 査読を伴う投稿原稿の二重秘匿性

査読を伴う投稿論文の査読は、執筆者名等を匿名にて行うため、文献等の表記の際には、本人の著であっても「筆者」「拙著」等とせず、執筆者名による表記とする。また、査読に対する回答の必要がある場合は編集委員会あてにこれを行う。

9. 査読による修正の要請

査読による修正の要請については、論文の修正箇所を明示し、対応の概要について編集委員会あてに回答すること。

10. 原稿の書式

原稿の書式は、以下のとおりである。

(1) 注・引用文献等もすべて本文と同じ文字サイズ、同じ字詰めで印字する。なお、英数字は原則として半角とする。

(2) 原稿は、無記名で、「本文、注、引用文献、図表等」の順に記載する。

(3) 各頁の下中央部に、頁番号を印字する。

(4) 論文の構成

* 節 1・2・3...(数字の前後に「第」「節」は付さない)

* 小見出し (1)・(2)・(3) ...

* 以下は、(a)・(b)・(c)...

* 本文中の箇条書きなどは、①・②・③...を用いる

(5) 年号は西暦表記を基本とする。和暦を併記する場合は、1987(昭和 62)年とする。た

だし、必要に応じて「昭和 50 年代」などの和暦表記を用いる。

(6) 数の量などを表す数字の表記は、単位語(兆, 億, 万)を付ける。カンマは入れない。

例：12 億 8600 万人, 15 兆 300 億円

幅のある数字を記す場合は、上位のケタの数を省略しない(ただし、年代はこの限りではない)。

例：130～150 万(130～50 万とはしない),1970～80 年

11. 要領の変更

本要領の変更は、学校法人敬心学園 学術研究誌『敬心・研究ジャーナル』編集委員会の議決を経なければならない。

附則

- 1 この要領は、2016 年 12 月 20 日より施行する。
- 2 本要領第 4 の(4)にかかわらず、平成 29 年度に限り「臨床福祉ジャーナル」「研究紀要」「子ども学論集」の原稿種類についても投稿を認めるものとする。
- 3 2017 年 1 月 13 日編集委員会にて改訂
- 4 2018 年 6 月 28 日編集委員会にて改訂(文書の形式 引用文献の記載について)
- 5 2018 年 10 月 26 日編集委員会にて改訂(投稿原稿の言語およびネイティブチェックについて)
- 6 2018 年 12 月 14 日編集委員会にて改訂(投稿時のネイティブチェックについて補足)
- 7 2019 年 6 月 7 日編集委員会にて改訂(投稿原稿の分量や様式、書式について、倫理上の配慮について補足)